

研究職員（任期付任用）募集要領

農林水産省農林水産政策研究所では、標記研究職員の募集を行っております。

任期付任用は、国家公務員総合職試験では適任者が得られない特別の知識、能力又は技術を必要とするポストについて、期間を限定して優秀な人材を採用するために行っているもので、今回の採用予定ポスト、募集条件、選考採用試験要領は下記のとおりです。

記

1. 採用予定官職及び研究業務内容とキーワード

農林水産政策研究所任期付研究員 1名
(詳細は別紙のとおり)

2. 応募条件 (以下の全てを満たすこと)

- ① 農学、地域政策学等の農林水産業、地域政策に関連する分野の博士課程修了者又は修了見込者 (採用予定日前に博士課程を修了し、学位取得が可能な者)
- ② 研究職員として採用予定ポストの研究課題を担当するために必要な知識、能力又は技術を有する者

※以下に該当する者は応募できません。

- ・ 国家公務員法第38条 (欠格条項) の規定に該当する者
- ・ 一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律 (平成9年法律第65号) 第3条第1項第2号により採用された事がある者

3. 任期

平成27年10月1日～平成30年9月30日

4. 給与等

一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律 (平成9年法律第65号) に基づき職歴等を勘案して決定。

5. 勤務地

農林水産政策研究所 (東京都千代田区霞が関3-1-1)

6. 提出書類

- ① 履歴書 (市販のA4版用紙に手書きし、写真を貼付すること)
- ② 研究業績報告 (所定の様式に従って研究課題、背景、方法、成果、成果の評価、発表論文等を記載)
※研究業績報告様式は別紙のとおり
- ③ 主要な論文、著書等3点を各3部 (コピー可)
ただし、単著又は筆頭著者のものに限りませす。
- ④ 応募する仕事に対する抱負 (A4版1枚)

⑤. 事務連絡用E-mailアドレス (パソコン及び携帯電話等)

7. 書類提出先

〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-1-1

中央合同庁舎第4号館

農林水産省農林水産政策研究所

総務部庶務課人事厚生係

※ 封筒あるいは封緘した包みの表に「任期付研究員応募書類在中」と朱書き、簡易書留で送付して下さい。

8. 応募締切

平成27年7月31日(金) (必着・締切日厳守)

9. 選考方法

① 一次選考 書類審査 (平成27年8月予定)

② 二次選考 一次選考合格者に対してのみ面接審査 (平成27年8月予定)
(二次選考の日時は、後日、一次合格者に直接お知らせします。)

10. 問い合わせ先

農林水産省農林水産政策研究所

・研究内容に関するもの

企画広報室 出田 (いでた)

・事務に関するもの

総務部庶務課人事厚生係 小林 (こばやし)

TEL : 03-6737-9000

FAX : 03-6737-9600

11. その他

応募に関する秘密は厳守いたします。また、応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。

採用予定官職及び採用理由

場所名：農林水産政策研究所

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	任用期間
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	<p>「農業・農村の構造変化を踏まえた農業生産主体のあり方に関する研究」</p> <p>今後進展すると見込まれる農村構造の変化とその農村コミュニティへの影響やそれらを踏まえた農業生産主体のあり方が明らかになり、農業構造政策、農村地域政策の円滑な推進、地域に応じた農業生産主体の育成策を検討する際の基礎資料を提供する。</p> <p>平成27年度から「人口減少・高齢化、新たな農業政策下における農業構造の変化と農業生産主体のあり方に関する研究」を3年間の予定で実施している。この研究は、①人口減少・高齢化、新たな農業政策下での農業の生産構造、農村の社会構造の変動とそれに対応した農業生産主体の動向について、地域の立地条件、人口動態等により地域の類型化を行い、その特徴を分析し、②これらの類型の中で、大きな変動が見込まれる地域について、当該地域の農業生産主体、農村コミュニティの変化とそのメカニズムを総合的に把握しようとするものである。その中で、特に、農村構造の変化が農村コミュニティに与える影響と、そうした変化の下での農業生産主体のあり方と成立条件を、農業・農村構造問題だけでなく、農村経済、農村社会に関する幅広い知見を活用して調査・分析を行う。</p>	平成27年10月1日から平成30年9月30日まで（3年間）

- 公募時のキーワード：
1. 農村社会構造
 2. 農村コミュニティ
 3. 農業生産構造

研究業績報告

(氏名) ○○ ○○ (-)

研究実施機関及び期間	研究概要	発表の時期及び方法	共同研究者

○ 研究業績報告の書き方

(氏名) 農 林 太 郎 (〇 - 1)

○ 業績整理区分

1. 学会（誌）発表

学会誌掲載論文又は学会での講演要旨を整理する。
2. 公刊図書

一般に市販されている書籍に掲載された論文、総説、実用記事、広報記事等を整理する。

なお、単行本や定期刊行物など図書又は雑誌の形式や発表形態で区分するものではない。
3. 機関誌発表

国、地方公共団体、公庫、公団、大学、外国政府機関、国際機関等から発表された研究報告、年報などの刊行物登載論文、総説、研究資料などを整理する。

なお、企画部門等において研究総括検討会議資料、研究推進構想資料等を任務として取りまとめ発表したものを含む。
4. その他

上記以外のもので、研究実績をもとに取りまとめ、成果又は資料として発表又は公開されたものを整理する。

例 特許実用新案
新聞記事
農業技術の普及資料
研修テキスト 等

○ 業績整理順

各区分内の業績記載順は、学会誌や所報告のような重要度の高いものを先に記載し、口頭発表等は、その後に記載すること。

注意事項

1. 同一業績を学会誌に掲載後、機関誌に掲載した場合等は主要な方で区分してダブル記載しない。
2. 主任担当者の〇印については共同研究者の中で食い違いのないように注意すること。
3. 学術用語については、事務担当者が理解できるように別紙により解説すること。
4. 左の余白を20mm以上とること。

研究実施機関及び期間	研究業績	発表の時期及び方法	共同研究者
○○○○研究所 自昭和〇年〇月〇日 至平成〇年〇月〇日 ○○○○研究所 自平成〇年〇月〇日 至 現在	[.....に関する研究 (研究の背景) ← (テーマ毎に記入) ①について記載 (研究の方法) ← (#) ②について記載 (研究の成果) ← (#) ③について記載 (研究に対する評価) ← (#) (研究の分担) ← (#)	研究業績は、優れて重要度の高い順から記載し、一連で数多くある場合は、それらの業績を総合または集約したテーマをつける。 なお、テーマ毎に新しいページにする。 ① 研究の目的は何か ② 研究方法の創造性などを明記する。 ③ 成果 (ア 新しい技術開発 イ 新有用物質や現象の発見 ウ 新優良品種の育成導入 エ 新理論の確立 オ 実験手段、測定方法等の創案 カ 有用データの収集、解析、考案) 1 農業への寄与 2 科学上の寄与 3 研究推進のための寄与 の観点から利益性、貢献度を適切に表現する。 共同研究をし、候補者が分担した業績（企画立案、試料採取、各種分析、現地調査、結果の取りまとめ等）を明確に記載する。	
(学会（誌）発表)	1)に関する研究について [.....] タイトルが同じ場合はサブタイトルを付けるか、解説を加え違いをはっきりさせる。 主たる業績は2〜3行の解説を加える。 なお、重要度の低い業績は省略可。	平成〇年〇月 ○○学会紀事〇巻 P〇〇〜〇〇	○農林 太郎 ↑山田 二郎
	2)について (講演要旨)について	平成〇年〇月 ○○○○学会 講演要旨集第〇集 P〇〇〜〇〇	○農林 太郎
	3) abcdefg hijk lmnopqrst (.....) ← 外国語の場合は和訳する。	平成〇年〇月 abcdefg (和 訳) ○巻〇号 P〇〇〜〇〇	○農林 太郎 A. B. Cdefgh (カタカナ)
	4) 投稿中の場合はその旨記載し、発行予定年月及び巻号を記載する。 なお、必ず受理書を添付の事。	平成〇年〇月 ○○報告 (投稿中) ○号 発行予定 〇年〇月	○農林 太郎
(公刊図書)	1)について 公刊図書の場合は誌名及び発行元を記載する。	平成〇年〇月 「○○の○○」 (○○〇堂) P〇〇〜〇〇	○農林 太郎 山田 二郎
◎ 以下「学会（誌）発表」の例と同様に業績整理区分毎に業績を列記する。 なお、テーマ毎に新しいページとすること。			
(機関誌発表)	1) 2) 3)		
(その他)	1) 2) 3)		
(1)			
(2)			
(3)			
			合 計
			〇〇点 (〇〇)
			学会（誌）発表 〇〇点 (〇〇)
			公刊図書 〇〇点 (〇〇)
			機関誌発表 〇〇点 (〇〇)
			その他 〇〇点 (〇〇)
			主任担当 業績数
			最終ページに業績の合計を入れる。 (サブテーマ毎には不要)
(4)			

共同研究者

農林 太郎
山田 二郎

農林 太郎

農林 太郎
A. B. Cdefgh
カタカナ)